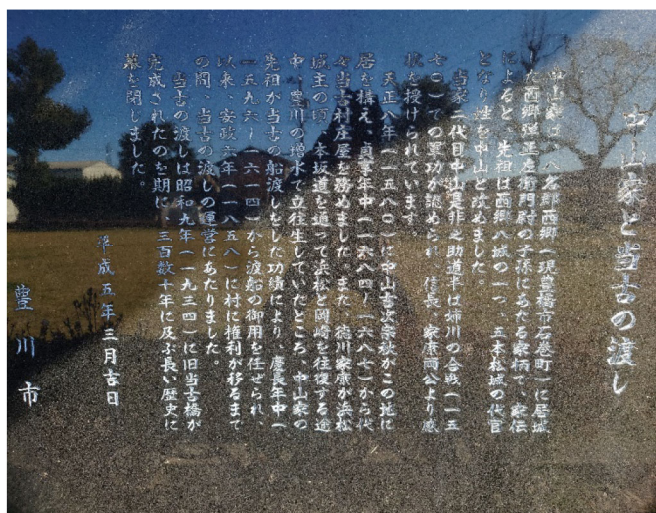


1月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川:左右岸 吉田大橋～新城橋
			管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和5年1月31日	実施区間	当古橋周辺



今日は、大寒波が通り過ぎて、日差しが少し暖かい日です。当古橋(とうごはし)の周辺を観察しました。豊川の河口から約13キロ、このあたりの普段の流れはとても穏やかです。川の水も澄んでいて、川鵜が時折飛び立つ姿が見られました。この橋は現在、国道362号、江戸時代は姫街道と呼ばれた街道の道筋となっていました。当時は橋が架けられておらず、「古当の渡し」があったそうです。上記右の写真は、橋のたもとにある、公園に設置されている石碑です。戦後時代の三方原の戦いや堀川城攻めなど、これから大河ドラマ「どうする家康」で描かれる時、この街道筋が美しい豊川とともに紹介されるとうれいいですね。



上記左は、この古当の渡しを240年余りにわたり任されていた中山家の経緯が書かれた石碑です。この渡しは、橋が架けられる1934年まで続いていたと記されていました。個人が渡船の事業を引き受けていたとは驚きです。中山家の屋敷跡が、公園として整備され、災害時の避難地としても指定されていました。

このあたりは、川筋が大きく左にカーブする所で、様々な破堤対策や堤防強化がされている様子を見ることができました。堤防の水仙の花が今年はやや少なく、夏の天候不順を予感させます。引き続き、治水対策をしっかりと行い、災害の無い豊川流域を希望します。 河川愛護モニター